

NPO 法人

全日本語りネットワーク

〒185-0021 東京都国分寺市南町 2-18-3 国分寺マンション B-03A

2022. 1. 10 発行

(Fax) 0237-67-7001 (振替) 00130 - 2 - 114808

(E-mail) welcome@japankatarinet.jp

(HP) http://japankatarinet.jp/

ニュース

コロナ禍のなかで

全日本語りネットワーク 地方理事 平野美和子 (北海道札幌市)

「今日は寒いからマスクしていきなさいね！」冬の朝、あわただしさの中での母の声が聞こえてきます。北海道の冬の日、風邪でもないのにガーゼを折って作った手作りマスクを着用、マスクは防寒具(?)の一つだったのです。2年前に出されたコロナ感染防止のためのマスク着用は、夏どうなるのかなあ?と思ったものでしたが、慣れはすごいですね。着用の不便さや違和感もいつか忘れ物の山の中に……悪者の衣装のようだった黒マスクも、今ではかつこ良いものに……。コロナ禍での意識や、諸々の変化にためらいを覚えるこの頃です。

緊急事態宣言が出て、「語り」や“おはなし会”の活動はストップ、初めのうちは、「この機会におはなしをたくさん覚えましょう!」と、言い合っていたのですが、期待外れ。目的がない行動を維持するのは、努力がいりますねえ。具体的なおはなし会や場がないといい加減な怠け虫が、元気に活動し始めます。コロナ太り歴然!これはたいへん!何かやらなくては……そこで、以前楽しんでいたパッチワークを再開しようと、布の箱をあけました。一度もはさみの入っていない布たちが恨めしそうになっていました。夢中になっていた時に買い集めた布たちは、忙しさとともに、すみっこに追いやられ、うずたかく積み上げてられていた箱々のなかにいました。一度も登場することがなかった小さな布たち、なんてかわいそうなことをしていたのでしょうか!よおし!必ず一度はピースとして使うぞ!と、決心。チクチクをはじめました。

様々な布・さまざまの色との共演は、先人たちの思いを手を通して繋いでいる=語りの糸を紡いでいるような気がします。いろいろ想像しながら、テレビの前にどかんと陣取って、手を動かす至福の時間を過ごしています。手だけを動かすのはもったいない、もちろんテレビのスイッチはON、目も耳も活動しています。自然・風景・動物・歴史……番組表を見ながら、チャンネルをガチャガチャ動かし続けています。旅行に行けないから旅番組を、「あーあステキ!行きたあーい」「あーあ、おいしそう!食べたあい!」見るだけで満足するのは?やっぱり物足りないですね。歴史番組では、知らないことばかり、なんとなく脳みそがすてきに重く、偉くなったみたい!動物番組では、彼らの子育てに感動、「人間は学ばなくっちゃあ!」悲しく・残酷なニュースを耳にするたびに、「動物を見習おう!」と叫んでいます。コロナ禍のおうちタイムでいろいろ学ばせていただいています。

寅年。トラの登場するお話を探しました。韓国・中国の昔話にたくさん登場。その姿は、強く・怖い動物だけではなく、時にはドジで間抜けな存在(また時には、恩返しをする道徳的な存在であったりも……)です。現在の生息地を調べてみました。なんと**絶滅危惧種**とか。えーっ!トラがあ?30年間語りつづけていても、北海道では市民権を得ていない**語り**です。**絶滅危惧者**なんていわれないよう、小さな布を大切にするように、語り続けるぞ!との決心を新たに、過ごしています。

いつの日か「むかし、むかし、コロナという悪い奴がいてね、世界中で悪さしたんだよ。でもね、世界中の人や動物たちが頑張って、コロナをやっつけたの!だから今は大丈夫なのよ!」なんて語りができたらいいですね。トラさんたち、一緒に頑張りましょうね。

